

JABEE 事務局ニュース No. 18

2011年10月5日

1) 2011年度 JABEE 審査員研修会

2011年度のJABEE審査員研修会は以下の2回開催しました。

- 日帰り研修 8月20日(土) 建築会館ホール
- 1泊研修 8月27日(土)～28日(日) クロス・ウェーブ幕張

日帰り研修会には、86名の審査員、26名のオブザーバーの他、日程の都合で1泊研修会に参加できなかった審査長、副審査長58名、総勢170名が参加しました。また、1泊研修会には審査長40名を含む51名が参加しました。本年度の審査員研修会には2回の合計で221名の審査長、審査員並びにオブザーバーが参加したことになります。講師は木村孟会長以下、総勢10名の認定・審査調整委員会、基準委員会の委員が担当しました。

本年度の研修会では、審査の重要な留意点として、「アウトカムズ評価の考え方」、「エンジニアリング・デザイン教育の審査について」および「基準1-3-5の関連性および基準5(3)、(4)の判定の考え方」を取り上げて講義を行い、参加者から大きな反響がありました。これらのテーマは、JABEEが重視する留意点であるとともに審査員、プログラム関係者からの質問や問題提起が特に多いテーマでもあります。さらに、アウトカムズ評価とエンジニアリング・デザイン教育は認定・審査の枠を超えた、技術者教育の推進と国際的同等性の確保のための根幹をなすものです。今後、機会を設けてこれらのテーマのワークショップを企画していきます。

また、1泊研修会でのグループワークでは参加者の中から各グループのリーダー、並びに記録係をお願いするなど全員参加型の活気にあふれた意義のある研修会となりました。



日帰り研修



1泊研修

2) 学協会主催審査講習会

JABEE 主催の審査員研修会の他、審査員の導入およびプログラム関係者の理解増進を目的に、学協会主催の審査講習会が開催されています。本年度の審査講習会を表 1 に示します。

表 1 2011 年度の審査講習会（9 月時点で承認されたもの）

開催日	主催学協会	連絡先
5 月 14 日	土木学会	終了
7 月 23 日	日本工学教育協会	終了
7 月 30 日	農業農村工学会、農学会、森林・自然環境技術者教育会、日本生物工学会	終了
8 月 3 日	日本建築学会	終了
9 月 12 日	日本機械学会	終了
11 月 26 日	電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会	Jabee-office@iee.or.jp

3) 2012 年度以降認定基準改定文書の公開

2011 年度第 1 回通常理事会（5 月 16 日）で承認された 2012 年度以降に適用する認定基準関連文書の一部を 5 月 31 日に、それ以外の関連文書を 7 月 31 日に、JABEE ホームページ http://www.jabee.org/OpenHomePage/accreditation_o.htm に公開しております。9 月 30 日には、その後の若干の修正を加えた文書を公開し、7 月 31 日公開文書と置き換えました。

IEA (International Engineering Alliance) は 2009 年の京都総会で新しい「Graduate Attributes (修了生能力) & Professional Competencies」を採択しましたが、ワシントン協定の 2011 年の台北総会で、各加盟団体が Graduate Attributes をそれぞれの認定基準に反映させるべき 2019 年に向けてロードマップが示されました。JABEE はそれに先立ち、2012 年に向けて認定基準の改定を進めており、2012 年度以降に適用する認定基準をホームページで公開いたしました。主な改正は 4 点あり、①アウトカムズ重視の姿勢を従来以上に明確にするとともに PDCA サイクルに合わせて基準項目を再構成したこと、②従来の「学習・教育の量」と「教育環境・学生支援」を「教育手段」の一部とし、これらの審査の取扱いを簡略化したこと、③「育成しようとする技術者像」と「修了生が確実に身につけておくべき知識・能力」を明確に分離し、“知識・能力”には上記の IEA の修了生能力を参考に点検し、チームワークに関する能力をとり入れたこと、④基準を専門職大学院の審査を除く JABEE の 5 つの認定・審査に共通する「共通基準」とそれぞれの認定・審査に必要な「個別基準」に分離し、分野別要件は共通基準を適用する際に当該分野固有の補足事項が必要となる分野に限って定めることにしたことです。詳細は「2012 年度認定基準改定の趣旨と要点」を参照して下さい。

いかに受審校の負担を軽減しながら実質的な審査をしようかという議論が各委員会で進められています。

4) 理事会

10月11日、2011年度第3回通常理事会を建築会館会議室で開催します。主な議題は、2011年度補正予算（案）、理事会規則（案）の審議ですが、その他、報告・意見交換事項が多くあります。

5) UNESCO-UIA

JABEEは2008年に建築教育の国際的枠組みである UNESCO-UIA (International Union of Architects)から教育認定団体として認証されています。その際、来日した審査チーム (Panel) から3点の指摘を受けており、2011年9月までに中間(改善)報告書を提出することが求められていました。UIA2011 東京大会 (第24回世界建築会議) で来日中のUIA 会長 (Ms Louise COX)、教育委員会共同議長 (Mr Sungjung CHOUGH) にお会いし、報告書を提出しました。JABEEは2012年に向けて認定基準の改定をしているので、それに合わせて建築分野の個別認定基準、認定・審査の手順と方法を見直したこと、日本の慣習、文化を守りつつ UNESCO-UIA 憲章に合わせる努力をしたので、必ずしも100%勧告には従っていない旨を説明しました。

以上

JABEEの社員（正会員）、賛助会員、理事、監事、顧問、委員会委員など、JABEE関係者間の情報共有を目的とした「JABEE事務局ニュース」の配信を開始して一年半が経ちました。

一方、JABEEには受審校へのお知らせを目的とした「メールニュース」という媒体がありましたが、現在、休止しています。

広報・啓発委員会で議論し、「JABEE事務局ニュース」の内容は受審校にとっても有益な情報があるとの結論が出ましたので、出来るだけ早い時期に「メールニュース」を再開して、それに「JABEE事務局ニュース」を合体する予定にしています。